

利根川水系における渇水の状況について

本日のポイント

○渇水の概況

- ・ 6 月 13 日未明からの降雨は、栗橋上流域で総雨量 40mm 程度のまとまった量となったが、利根川上流 8 ダムの貯水率を回復するまでは至らず過去最低の 37% のまま

○国土交通省の対応

- ・ 国土交通省渇水対策本部を設置

○関東地方整備局の対応

- ・ 利根川水系渇水対策連絡協議会を開催
- ・ 6 月 16 日午前 9 時からの利根川、江戸川、鬼怒川、神流川、渡良瀬川※における取水制限（10%）開始を決定

※渡良瀬川については、11 日より制限中

1. 渇水の概況

○今年、利根川水系において、累加降雪量が平年の 5 割程度（藤原ダム地点）と非常に少なく、また雪解けが平年に比べ約 1 ヶ月早い状況。

さらに、利根川中上流域の 2 月～3 月にかけての降水量が比較的少なかったことに加え、特に 5 月は例年の 48% 程度の降雨量（5 月の総雨量 56mm）。

このため、利根川上流 8 ダムの貯水量が平年の 46%（6 月 14 日 0 時時点）と非常に少ない状況。

○下流の水利用に必要な取水量を確保するため、ダムから補給（放流）した結果、貯水量が急速に低下。

6 月 13 日未明からの降雨は、栗橋上流域で総雨量 40mm 程度のまとまった量ではあったが、補給も行っていることから貯水率はこの時期として過去最低の 37% のまま（6 月 14 日 0 時時点）。

2. 取水制限の状況

○利根川水系渡良瀬川

6 月 11 日（土）9：00～ 取水制限（10%）

3. 国土交通省の対応

- 6月 7日（火） 国土交通省 水管理・国土保全局 渇水情報連絡室設置
- 6月14日（火） 国土交通省 渇水対策本部設置

4. 関東地方整備局の対応

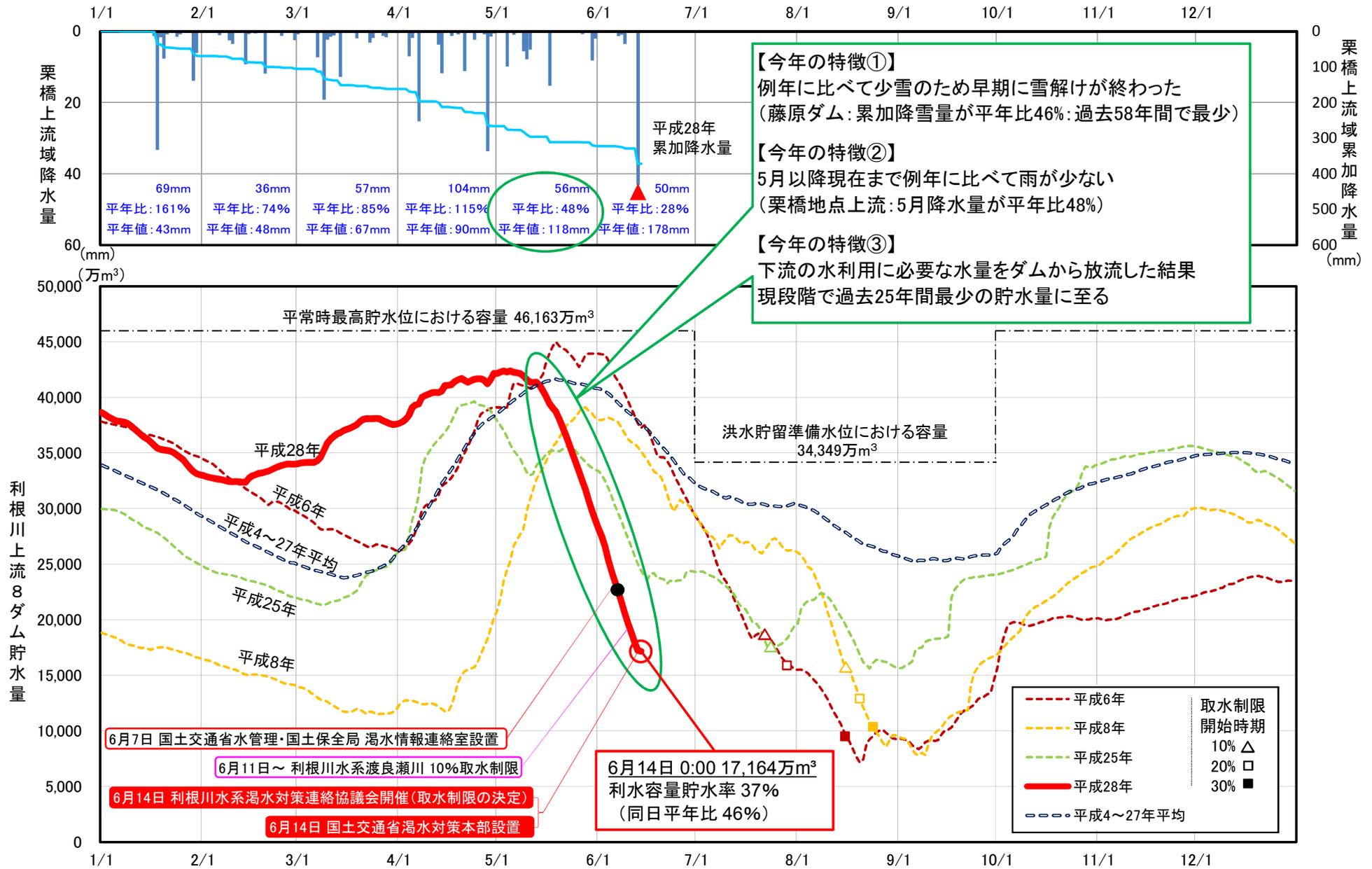
- 4月 8日（金）第1回利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会（春季定例会）
 - 6月 7日（火）第2回利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会開催
 - 6月14日（火）利根川水系渇水対策連絡協議会開催
 - ・ 6月16日の午前9時から利根川、江戸川、鬼怒川、神流川、渡良瀬川※において10%の取水制限を決定 ※渡良瀬川については、11日より制限中
 - ・ 今後利根川上流8ダムの貯水量が1億5千万m³を下回った場合、翌日の午前9時から利根川、江戸川、鬼怒川、神流川、渡良瀬川において20%に取水制限の強化を決定
- 利根川上流8ダムからの補給と下流施設を活用し、利根川水系全体でより効率的な水運用を実施中。
- ・ 北千葉導水路※により、利根川下流部から江戸川へ導水（6月13日は最大14m³/s）。
 - ・ 三郷放水路※により、中川から江戸川へ導水。
 - ・ 利根川連絡水路※（霞ヶ浦開発施設）により、霞ヶ浦から利根川へ導水。
- ※上記3水路は、河川の状況に応じ導水を実施

5. 今後の見通し

- 気象庁の発表（6月9日）では、関東地方の向こう1ヶ月（6月11～7月10日）の降水量は、期間のはじめは、少雨の状態が続くものの、平年並みの見込み。
- 6月16日の午前9時から利根川、江戸川、鬼怒川、神流川、渡良瀬川※において10%の取水制限開始。 ※渡良瀬川については、11日より制限中

利根川上流8ダム貯水量履歴図

平成28年6月14日0時現在



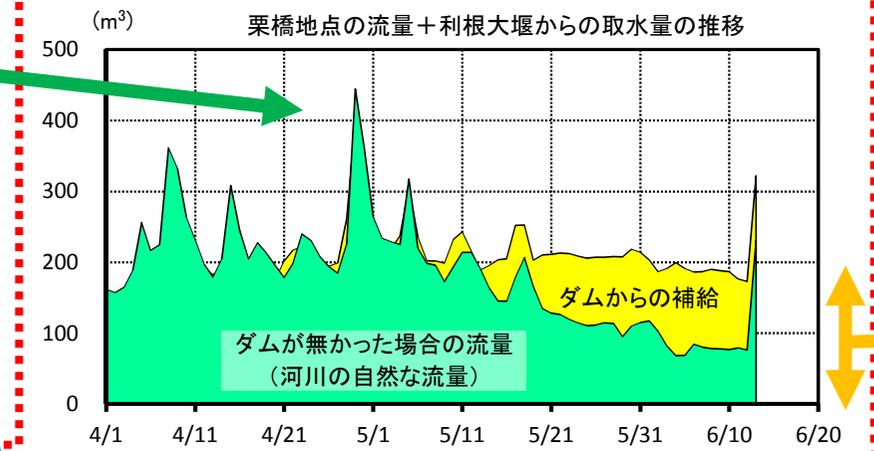
利根川上流8ダムからの 放流と取水との関係

平成28年6月13日現在 ※1

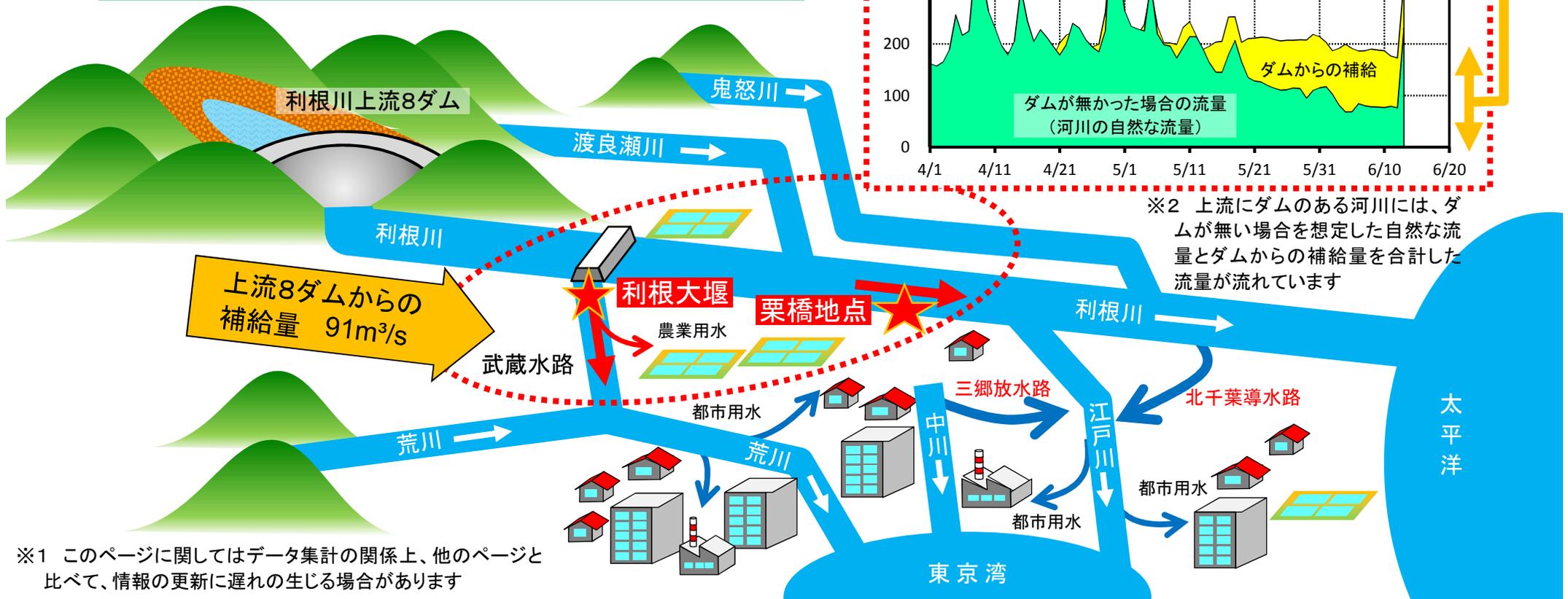
【今年の特徴③】

5月以降の小雨により、河川の自然な状態での流量が減少したことから、**下流の水利用に必要な水量をダムより補給(放流)した結果、ダムの貯水量が急速に低下**

利根川・江戸川・荒川3河川の水需要に対して、必要な取水量を確保するため、**利根大堰からの取水量と栗橋地点での流量を合わせ、一定の流量の確保が必要**※2



※2 上流にダムのある河川には、ダムが無い場合を想定した自然な流量とダムからの補給量を合計した流量が流れています



※1 このページに関してはデータ集計の関係上、他のページと比べて、情報の更新に遅れの生じる場合があります